

かがみがわおおはし

## 鏡川大橋ころもがえ！

## ～ 第3回 鏡川大橋色彩検討委員会の開催 ～

土佐国道事務所では、平成20年度から塗り替えを予定している国道56号の鏡川大橋（高知市中の島）について、塗り替えの色彩を検討する「第3回 鏡川大橋色彩検討委員会」を以下のとおり開催いたします。

日時：平成20年2月26日（火）14：00～16：00  
場所：国土交通省 土佐国道事務所（高知市江陽町2-2）

今回の委員会が最終となり、詳細な色彩検討（シミュレーション画像の確認等）を議論していただき、塗り替え案の提言を行います。

この委員会は、学識経験者・住民代表ならびに行政機関などで構成し、広く親しまれる橋を目指して、色彩を検討することを目的としています。

なお、委員会は常時傍聴可能ですが、カメラ取りは冒頭までとさせていただきます。実施後は検討内容等についてホームページにて公表する予定です。

鏡川大橋は、昭和56年に完成し26年を経ており平成20年度から塗り替えを計画しています。

塗装の役割は、美観と保護の2種類あります。適切な維持管理を行わないと橋梁の寿命も短くなり、早期段階で架け替えが必要となる事も考えられます。大切な資産である橋を長く利用していただくため効率的な維持管理が重要と考えています。

土佐国道事務所のホームページ

<http://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/>

平成20年2月25日

## お問い合わせ先

国土交通省土佐国道事務所

TEL . 088 - 884 - 0359(代)

副所長（管理） 小林 幸雄 （内線205）

管理第二課 課長 石川 安二 （内線441）

## 鏡川大橋色彩検討委員会のスケジュール

### 第1回委員会 H19.10.30

《現状報告と検討手順の決定》

- ・平成18年度「浦戸湾色彩計画策定協議会」で検討された概要報告
- ・色彩検討についての討論
- ・鏡川大橋に関するアンケートを行う内容・手法の確認



### 第2回委員会 H19.12.17

《色彩検討の実施》

- ・アンケートの結果報告
- ・コンセプト(案)の提示
- ・具体的な色彩検討



### 第3回委員会 H20.2.26

《色彩について提言》

- ・詳細な色彩検討
- ・シミュレーション画像(イメージ図)の確認
- ・本委員会で提言

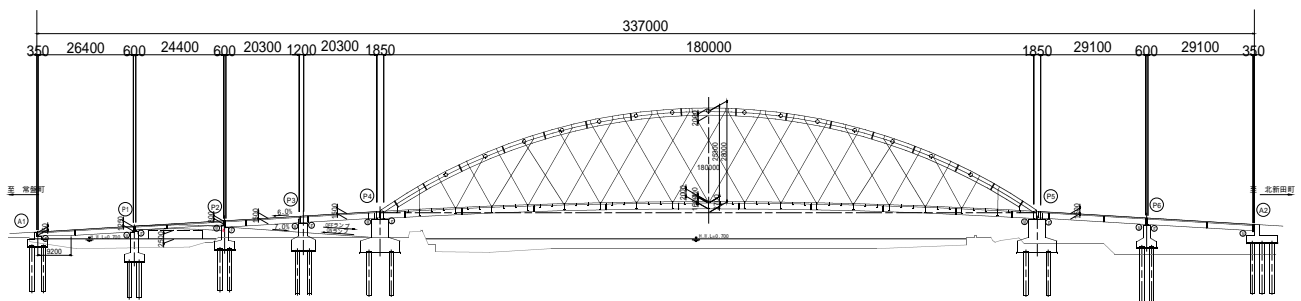
#### 浦戸湾色彩計画策定協議会とは

浦戸湾周辺で整合性のある色彩計画運営を目指しており、市民・企業・行政及び専門家で平成16年度に構成され、塗り替え等の事案ごとに計画を評価し必要な提案を企業等に行うための中立機関に位置づけられている。

## 鏡川大橋色彩検討委員名簿

役職	氏名	所 属
会長	重山 陽一郎	高知工科大学 社会システム工学科 准教授
委員	大倉 美知子	日本色彩学会正会員 カラーリスト
委員	鎌田 良耀	潮江地区町内連合会 会長
委員	神崎 健史	(社)高知県建築士会 まちづくり研究会 代表
委員	楠瀬 正	南街地区町内連合会 会長
委員	久保 博道	高知県土木部道路課 課長
委員	竹村 志麻	テレビ高知(KUTV) アナウンサー
委員	西山 忠利	JAF 高知県支部長
委員	松山 明夫	高知県バス協会 専務理事
委員	元吉 太郎	ほっとこうち 編集長
委員	山崎 隆正	NPO法人 高知NPO 浦戸湾みらい会議 「浦戸湾・色彩計画専門部会」部会長
委員	吉田 光輝	高知市都市計画課まちなみデザイン室 室長
委員	松井 保幸	国土交通省 土佐国道事務所長

## 鏡川大橋の概要



鏡川大橋は、1981年（昭和56年）3月に完成した橋長337.0m、幅員33.3mの7径間の橋梁であり、鏡川に架かる橋梁では、径間が1番長い橋（アーチ部分がニールセン橋  $L = 180.0\text{m}$ ）となっています。

鏡川大橋は、平成16年4月に高知市より国土交通省へ移管された橋梁です。

### ニールセン橋とは

ニールセン橋は、Nielsenにより発案されたアーチリブと補剛桁をむすぶ吊り材（斜め引張り材）を綾状に配置したローゼ桁橋の一種です。

